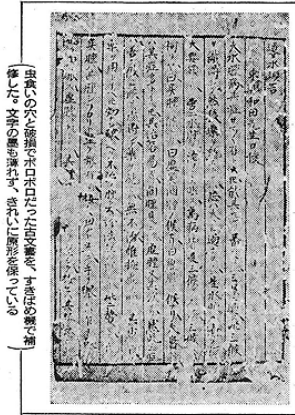


# 古文書補修の「新兵器」



独自に開発したすきばめ機を使って古文書補修の実験をする増田さん



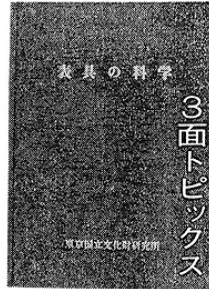
東北大学表具師の増田さんが補修した古文書。右側は複製機で写した複製品

東大出  
表具師。

「江戸時代、表具師は、古書や文書に色紙や紙を貼って、補修や装束をした。その技術は、戦後、表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。」

## 裏表3ページ、数分で

東京国立文化財研  
増田さん開発



「江戸時代、表具師は、古書や文書に色紙や紙を貼って、補修や装束をした。その技術は、戦後、表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。」

### 技術秘伝で後継者不足

「江戸時代、表具師は、古書や文書に色紙や紙を貼って、補修や装束をした。その技術は、戦後、表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。」

### 手仕事なら大変な時間

「江戸時代、表具師は、古書や文書に色紙や紙を貼って、補修や装束をした。その技術は、戦後、表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。」

## 独自の「すきばめ法」 穴にコウゾ繊維を注入

「江戸時代、表具師は、古書や文書に色紙や紙を貼って、補修や装束をした。その技術は、戦後、表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。」

### 歴史資料の保存に威力

「江戸時代、表具師は、古書や文書に色紙や紙を貼って、補修や装束をした。その技術は、戦後、表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。表具師の技術が衰えてきた。」